

新基地建設反対名護共同センターニュース

県民投票キックオフ集会 3000人の熱気



写真提供・全国商工新聞

県民投票連絡会は26日、辺野古ゲート前で「県民投票キックオフ集会」を開催、3000人の県民が参加しました。冷え込みが強い中、集会はプラカードや横断幕が掲げられ熱気であふれました。稲嶺進連絡会共同代表は「選挙で何度も辺野古ノーの民意を示しても無視する政府に、県民投票で改めてはっきりとノーの民意を示そう」と訴えました。高良鉄美共同代表は「県民投票が全県実施となったのは県民の底力。投票結果でも底力を示そう」、照屋義実共同代表は「沖縄の痛みが、全国民の痛みと感じられるように、圧倒的な民意を改めて示そう」と訴えました。

県民の世論と運動で全市町村が実施！
辺野古ノーの圧倒的民意を安倍政権へ

県民投票成功へ 名護市でシンポや学習会

島ぐるみ会議名護がシンポジウム

島ぐるみ会議名護は24日、県民投票の成功めざしシンポジウムを開催し百数十人が参加（写真右）。稲嶺進前名護市長、県民投票の会・元山仁士郎代表、大城渡名桜大教授らがパネリトを務め、全自治体で県民投票を実施させ「辺野古新基地建設反対の圧倒的民意を示そう」と訴えました。



やんばる統一連が学習会

やんばる統一連（代表・仲本興真氏）は29日、名護民商で「いま、なぜ県民投票か」と題し学習会を30人の参加で開催（写真左）。新垣勉弁護士が県民投票をめぐる経過や歴史的意義、たたかひの展望などを熱く講演。新垣氏は、県民投票で圧倒的な「辺野古新基地建設反対」の民意を示すなら裁判闘争でも勝利できる展望を拓くと報告。参加者は県民投票成功へ奮闘する決意を交流しました。



滋賀 沖縄県民投票で連帯学習会

滋賀県で沖縄県民投票のキックオフ集会に呼応し、大津市と彦根市で名護共同センターの早坂義郎さん（写真）を講師に学習と交流会を開催しました。（通信と写真・高田恵子さん）

2会場で1000人を超える参加者

大津市では26日、辺野古新基地建設ストップ滋賀の会主催で雪が降る中71人が参加。沖縄からの報告の他に陸自あいは野演習場の実弾演習、京丹後の米軍Xバンドレーダー問題の報告もありました。滋賀の会では今後、辺野古埋め立てに「賛成」、「反対」の模擬投票用紙で街頭から「期日前投票」を呼びかける活動を展開することを確認しました。

彦根市では27日、市平和委員会の再建総会を兼ねた学習会を35人の参加で開催しました。2会場では、参加者から沖縄の民意を踏みにじって辺野古の海に土砂を投入する理不尽な安倍政権への怒りと、不屈に闘う沖縄県民へ連帯の発言が続き、積極的な沖縄支援カンパが寄せられました。

学習会で寄せられた感想文から

- 沖縄の人たちの諦めない意志の強さに敬意を表します。元気をもらいました。しんどいし、寒いので参加やめようかなと思ったが来てよかった。
- 民主主義実現へ沖縄と共に闘う決意を強くしました。臨場感いっぱい現地報告はともよかったです。新たな熱意が出てきました。
- とても生々しいお話で身に染みて良くわかりました。
- 沖縄の報告を聞いてただ一つ、「いま、沖縄県民になりたい」と思いました。
- 沖縄と同じように、より多くの人とつながる必要がある。安倍一強を倒すため知恵と力を示そう！
- 沖縄の苦しみが、一片ですが、よくわかった。

